



今年も「始まりの季節」がやってきました！ 令和7年度が始まりました。桜のバトンが日本列島を南から北へリレーをする始まりの季節です。緑小学校は昨年度、30周年を迎え、今年度は新たな歴史と伝統を紡いでいくスタートの年になります。今年度一年間、いつも以上に「さあ、今から」と「よし、今なら」の気持ちで緑小学校のこれまでの30年に感謝の気持ちを持ちながら、誇りと意気込みを胸に31年目の学校生活を丁寧と心をこめて過ごしていきたいと思ひます。子供たちの活動や生活の様子を学校だよりやHPを通してお伝えし、ご家庭や地域の皆様に日頃の学校の取組や子供たちの成長の姿などを知っていただき、これからも信頼いただける学校づくりに努めてまいります。



今年度は児童数194名、職員については、常勤及び本校本務職員23名、非常勤及び兼務職員5名でスタートしました。子供たちには、今年度も自分や友だちのよいところを見つけ、尊重できるような学校生活を送ってほしいと願っています。

これまで同様ご協力ご支援いただきますようどうぞよろしくお願いいたします。

令和7年度 こんな緑小学校を目指します

今年度のスローガン 「つながる ～一人の10歩より10人の一歩～」

昨年度の学校評価や各種学力等調査などの結果を踏まえ、本年度の学校経営計画や実現のための努力点を検討しました。今後学校運営協議会にお諮りしてまいります。今年度もご家庭や地域の皆様と固い絆でつながり、緑小職員全員で一歩ずつ歩を進め、一丸となって子供たちの笑顔と健やかな成長のために精一杯努力し、「子供が育ち、教職員が協働し、保護者と地域と連携する学校」を目指してまいります。

＜学校教育目標＞

「かしこく やさしく たくましく」－自ら考え、主体的に行動できる心豊かな子供の育成－

この学校教育目標の実現を目指し、以下の通り目指す教育活動の姿、目指す児童の姿、身に付けさせたい4つの力を継続して育てていきたいと考えています。

＜目指す教育活動の姿＞

～子供がわくわく学び みんなの笑顔があふれる 教育活動の実現を目指します～

＜目指す児童の姿と本年度の努力点(抜粋)＞

～元気なあいさつ 輝くひとみ みんなが笑顔 みどりの子～

○学び合いよく考える子

- ・聴いて自分の考えを再構築することを通して、考えを深め表現することができる授業の実践
- ・ブロックチーム制を核としたブロック単位での生活や学習の指導者交流や合同授業等の積極的な実践

○明るく思いやりのある子

- ・一人一人を大切にし自尊感情や所属感を高める指導の工夫、いじめは絶対に許さない指導の徹底
- ・なかよし班活動の推進

○心身ともにたくましい子

- ・時間を守り、整理整頓ができる気持ちの良い自律した集団生活の推進
- ・自分や友だちの良さを実感し共有できる指導の工夫
- ・事故の未然防止と自分の命は自分で守る力の育成

＜子供たちに身に付けさせたい4つの力＞

学校は学力を身に付けさせる場所であり、私たちにはその責任があると考えています。学力には、それを支える力があり、それらを伸ばすことにより結果として身に付くものだと考えます。学力を支える力はたくさんありますが、本年度も○夢を見つめる力 ○自分を見つめる力 ○仲間を見つめる力 ○学びを見つめる力の4つとし、授業はもちろん日常の学校生活や行事などを通して育てていきたいと考えています。そして、その先に目指す児童の姿の実現があるのだと考えています。

＜指導体制の工夫改善点＞

子供たちが安心して学び楽しい学校生活を送れるようにするために、「全ての子供を全職員で」という意識でこれまでも指導を続けてまいりました。更に指導体制を充実させ、組織力を高め、子供たちがたくさんの先生に見守ってもらっているという安心感を高め保護者のみなさまにもより安心していただけるよう、昨年度からブロックチーム制を導入しております。今年度は更に一歩進んだ取組を進めてまいります。引き続き、趣旨をご理解いただき、今後ともご協力いただきますと幸いです。

今年度も上記の通り、ブロックチーム制の推進を通して、授業はもちろん日常生活でも、学級担任だけでなく、多くの教職員が子供たちと関わることにより、安心できる指導や相談体制を整えたいと考えています。どうぞご理解いただきますよう、お願いいたします。今後ともご家庭に様々な方法で学校の情報をお知らせしながら、よりよい学級、ブロック、学校づくりに努めてまいります。ぜひ学校のHPからも学校の様子をご覧くださいますと幸いです。よろしくお願いいたします。

下野市立緑小学校

校長 鈴木 寧子